

もうずいぶん前になりますが、「西の魔女が死んだ」という小説が話題になり、その後映画にもなりました。

中学生になった主人公の少女は、複雑な友達関係の中でだんだんと休みがちになり、悩みながら、学校は自分にとって苦痛を与える場ではないと考え、お母さんに「学校に行かない」と伝えます。

母は観念し、しばらく田舎暮らしをしている外国人の自分の母に預けることにしました。

そこで、少女はおばあちゃんから自分たちは魔女の家系であることを聞き、自分も立派な魔女になりたいと修業を受けることを決めます。

魔女になる為には、まず物事の正しい方向性をキャッチするアンテナを持ち、何事も自分で考え、自分で決める力と、自分で決めたことは必ずやり遂げる力をつけて行くと言う事でした。喜びも、希望も、幸せも。

一緒に生活する中で、おばあちゃんはいつも優しさと厳しさを持って少女を見守っていきます。

徐々に少女は自分の居場所を探し始め、その迷いを打ち明けます。「わたし、やっぱり弱かったと思う。一匹狼で突っ走るつよさを養うか、群れで生きる楽さを選ぶか」とおばあちゃんは、「その時々で決めた

らどうですか。自分が楽に生きられる場所を求めたからと言って後ろめたく思う必要はありませんよ。サボテンは水の中に生える必要はないし、蓮の花は空中で咲かない、シロクマがハワイより北極で生きる方を選んだからと言って、だれがシロクマを責めますか。」と、少女の気持ちをしっかりと受け止め、その子の力を優しく引き出していきます。

子どもの成長への関わりはその子のその後の生活に大きな影響を与えます。

大人が生活を見直し家庭環境を整えて行くとともに、これからは社会全体で、そしてこの地域全体で子育て環境を整えながら、子どもたちを豊かな環境で育てて行く事が大切となってきます。

子どもたちが自分らしく輝き、一生懸命に生きていけるように、私たち大人が自分らしく輝きながら一生懸命生きていきたいと考えます。

「西の魔女が死んだ」

著 梨木 果歩より

新潮文庫

連載・青少年健全育成シリーズ 第303回

「自分らしく・一生懸命」

青少年の声かけあいさつ運動の推進
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」

毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。

青少年育成都留市民会議編集委員

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ：総務課 法制広報担当

広告料金

| 掲載場所 | 印刷色 | 金額/枠 | 備考 |
|------|------|--------|-------|
| 裏面 | カラー | 20,570 | 2カ月掲載 |
| 内面 | 2色刷り | 10,280 | 2カ月掲載 |

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況は、下記をご参考としてください。

また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄